

ユーザーレポート ～0の証明～

USER REPORT

業務効率化を目指してIT点呼システムの導入

株式会社 ギオン

株式会社 ギオン
東日本ターミナル 埼玉MDセンター

神奈川県を本拠とする総合物流企業 株式会社ギオンでは、責任ある安全輸送の実現と管理部門の業務効率化のため各地の営業所に Tenko-PRO を導入した。その成果について、営業所の一つである東日本ターミナルの埼玉MDセンターでお話を伺った。

ドライバーの安全教育に注力

後藤マネージャー：当社は、約60台のトラックを保有し、関東圏の流通店舗へ食品を輸送しています。IT点呼を実施するためにはGマーク取得が条件となりますから、ドライバーの安全教育には力を入れてきました。毎月一回の教育は当然のこと、現在ではドライブレコーダーも導入し、帰社点呼時に画像やタコグラフをチェックして安全指導に取り組んでいます。

吉川ゼネラルマネージャー：かつては簡易な機器と対面式点呼で飲酒の有無をチェックしていました。Tenko-PROは検知精度が高く、測定記録も保存されるので、ドライバーを管理する私たちとしては安心です。また、管理部門のコスト削減も導入成果の一つです。ギオングループの中には人員



に余裕がない小規模の営業所があります。当社の Tenko-PROを通じて点呼執行することで、そうした営業所の管理業務も効率化できました。

職務に対する責任感がさらに

後藤マネージャー：Tenko-PROのような本格的な検査機器の導入は地域の同業者の中では早かったと思います。導入後、ドライバーはプライベートでの飲酒を控える傾向にあり、特に通常勤務前日の摂取量は減っています。



吉川ゼネラルマネージャー：営業所の場合、長距離輸送はないため出発と帰社時の点呼を職場で行っていますが、ドライバーを見ていると“仕事をきちんと行うために Tenko-PRO でチェックをする”という意識を感じます。簡易な機器から高精度の検査機器に変わったことで、自己管理の意識もより高まったのでしょうか。また、自社だけでなく出入りする業者のドライバーにも Tenko-PROでのチェックをお願いしています。業務を委託するにあたって安全を確認できるようにするためです。

最近では、ギオン東日本ターミナルに関わる業者や協力会社もアルコールチェッカーを導入しはじめたという。Tenko-PRO がそのきっかけだ。飲酒運転撲滅の気運が地域の運送事業者の間に確実に広がっている。

ご利用機器

パソコン連動記録型測定器 IT点呼システム

ALC-PROII Tenko-PRO

取材ご協力

株式会社 ギオン

東日本ターミナル 吉川 貴之 様
ゼネラルマネージャー
埼玉MDセンター 後藤 春樹 様
マネージャー

〒362-0811
埼玉県北足立郡伊奈町西小針5-2
TEL 048-729-2911
FAX 048-727-1987

